



Team Dainan

八千代市立大和田南小学校
《校長室だより》
令和3年度 第27号
令和3年 11月 4日

命を守る言葉は、国境を超える！！

～地震発生！その時あなたを守る安全確保行動 シェイクアウト訓練～

命を守る言葉は国を越える！！



“Drop!(まず低く)” “Cover!(頭を守り)”
“Hold on!(動かない)”

シェイクアウト訓練は、2008年に米国カリフォルニア州で始まった地震防災訓練の名称です。開始されてまだ新しい訓練ですが、日本を含め、世界中で広がりを見せている訓練です。

では、なぜ短期間の間に世界中で実施されるようになったのでしょうか？それは、科学的根拠がある統一した地震シナリオに基づいているからです。シェイクアウト訓練は、3つの安全確保行動「まず低く、頭を守り、動かない」から成り立っています。

これまでに起きた地震では、地震のゆれ自体だけが进行することはめったにありません。地震による死傷例の大半は、家屋の倒壊やガラスの破片などの落下物が原因です。安全な場所へ避難しようと長距離を移動することによりけがする例がもっとも多く、避難の際の移動距離を最小限に留めることがとても重要だと言われています。

大和田南小学校では、11月5日(金)にシェイクアウト訓練を実施いたします。シェイクアウト訓練は、世界的に普及しているため、安全確保行動の指示は英語です。本校は、ユネスコスクールとして英語教育にも力を入れていることもあり、子供たちは普段から英語に慣れ親しんでいます。“Drop!(まず低く)” “Cover!(頭を守り)” “Hold on!(動かない)”の動作を英語の指示で行っても違和感なくすぐに行動に移すことができます。訓練を通して「命を守る言葉は国を越える」ということを子どもたちは肌で感じ取ることでしょう。

地震発生時、激しい揺れに襲われるまで、または何かが落下してくるまで、自分の身を守るためには数秒の猶予しかないかもしれません。いざという時に備えておくためには日頃の訓練が必要不可欠です。ご家庭でも、地震が起きたときにどこが安全な場所かを確認しておくことをお勧めします。

4年生 “届けよう、服のチカラ” プロジェクト

～6年生から4年生へ引き継がれ、思いが形になりました。～

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2年ぶりに再開した「届けよう、服のチカラ」プロジェクトにたくさんのご協力いただきありがとうございました。4年生の子供たちは、6年生からの思いを引き継ぎ、今できることを考え、精一杯頑張りました。皆様のご協力のおかげで、約2,000枚の服を集めることができました。集められた服は、服を必要としている難民の子供たちのもとに届けられます。そして、そこで新たな思い出が作られていきます。最終締切りは11月15日(月)となります。まだお手元に寄付をできる子ども服がありましたらご協力をお願いいたします。

